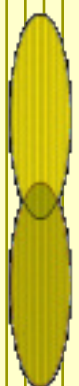


くらしを支え 安心して教育に打ち込む賃金引き上げを!

全教・都教組
杉並支部 ニュース



19日まで、都労連統一行動の批准投票です

みんなの願いを実現しよう

- すべての職員の賃金の引き上げ
 国の勧告は、初任給を1万1000円引き上げる。初任給以外は若年層に重点を置き、全体の引き上げ改定を行う。ボーナスは0.1月引き上げる(4.40月→4.50月)。再任用職員については、1000円～400円、ボーナスは0.05月の引き上げる、というもの。私たちの給料はこれでよいのか。物価高騰が続く中、生活改善には遠く及びません。
- 長時間過密労働解消
 授業の持ち時間数の縮減、教職員定数改善など具体的実効性のある措置が必要です。
- 会計年度任用職員の雇用確保と待遇改善
 報酬額が低すぎます。勤続年数に応じた昇給措置を。常勤職員との均衡待遇を。
- 高齢期雇用制度の改善
 55歳昇給抑制措置の廃止、60歳超教職員の賃金水準の引上げ、退職手当の改善を。

1312 11 10 8 7 6 5 4 3 2 1

くらしを支え、安心して教育に打ち込む大規模賃金引き上げを!
 1年単位の變形時間労働制導入阻止、長時間過密労働解消、教職員定数大幅増、持ち時数縮減、業務削減を!
 あらゆるハラスメント根絶、全ての区市町村での防止指針の策定と相談窓口の設置を!
 会計年度任用職員の雇用確保、報酬・処遇改善を!
 島しょ教職員の格差解消、賃金・処遇改善を!
 再任用職員の給与水準改善、定年前職員同様の一時金及び生活関連手当の支給を!
 条件付教職員の採用及び期限付任用職員全員の正式採用を行え!
 教育を壊す職責・能力・業績主義強化反対、人事考課制度の抜本的見直しを行え! 「職の分化」による差別・分断許すな!
 教員2級賃金改善、昇給カーブフラット化是正を!
 学校事務職員・栄養職員にふさわしい人事給与制度を実現せよ!
 福祉関連要求・両立支援策前進を!
 55歳昇給抑制の廃止! 60歳超職員の賃金水準抜本引き上げを! 退職手当の改善で、安心して働ける高齢期雇用制度を実現せよ!

都労連・都教組の今年の重点要求

東京都教職員組合
 杉並支部情宣部
2023年
10月11日
 5号
 Tel 3399-8719
 Fax 3399-3855
 支部ホームページ
<http://tokyusuginami.web.fc2.com>



杉並支部のホームページです

東京の教員採用・小学校の受験倍率 何と1.1倍 (9/29発表)

今年の小学校の受験者数は10年前から半減し、2280人。合格者数は昨年より1.6倍増やして2009人。
 都教委は採用枠を色々拡大したが、それでもこの結果。小手先の対策でない抜本的な希望のある教員の待遇改善が求められています。

来年度の国の予算 防衛省要求が文科省要求を大幅に上回る

2024年度概算要求では、防衛省が約13%増、1兆円近く増額の7兆7385億円に対して、文部科学省要求は11.9%増の5兆9216億円、そのうち文教関係予算は約9%増の4兆3759億円。
 小学校5年生での35人以下学級の前進やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の拡充、小学校高学年の教科担任制前倒し、教員業務支援員や学習指導員等の拡充、部活動指導員の大幅増など。保護者、教職員、地域の願いである、小学校から中学校、高校での少人数学級の前進、教職員定数改善、「教職員未配置」の解消等には程遠い。

ほっとニュース! 杉並区 10月から学校給食を無償化

去る9月26日の区議会で、一般会計補正予算が採択され、国による対策が講じられるまでの暫定的な措置として、学校給食の無償化が実施されることになりました。
 岸本区長は記者会見で「子育てを地域・社会全体で支えていくという視点に立ち、子育てにおける経済的負担の軽減を図るため」と、所信を述べました。
 対象は区立学校のみです。義務教育を受けている全ての子ども達が対象になるよう、国や都の取組が必要です。

来年度の教育予算について区教委に要請 8/25

主要要請に対する区教委の回答（要旨） 詳細は分会宛ての報告をご覧ください

杉並区の30人程度学級の拡大を

☑ 「30人程度学級は、区費教員の活用によって小学校における区独自の取り組みとして実施している。国の小学校35人学級実施により、今後の区費教員は、小学校の教科担任制の実施や特別支援教育の充実に資するよう、小学校、中学校、特別支援学校への効果的の配置、活用を図っていく。

中学校の35人学級や30人以下学級については、中学校35人学級法改正が優先されるべきで、特別区の学務課長会として、法改正を国に要望するよう都に対して求めている。

教職員の未配置問題の改善

☑ 本当に大きな問題で、探しても探しきれない状況がある。教員不足については東京都がやることだが、区としてもできる事はやりたい。一昨日、学校で働きたいという方の募集説明会を開いたところ、120名くらいの応募の中で100名近くの参加があった。教員免許を持っている方が半分くらいで、他県とか以前経験した方もいて、免許を持っている人の掘り起こしにもなった。おかげで昨日今日と、英語科とか国語科とか学校とのやり取りの中で時間講師または臨時的任用教員として学校に紹介することができた。根本的な解決ではないが少し光が見えてきたのかなと思う。今後とも、どう教員を確保していくか区としてしっかりやっていきたい。かつ、先生方が安心して休める環境と心の病にならないような職場環境改善も大事だと思うので、そうしたことも一体的に取り組んでいくことが必要だと思っている。

富士学園の再開を

☑ **杉並支部** 今年度より富士学園が閉鎖され、代替宿泊施設の確保および宿泊施設の利用、各宿泊施設に応じたプログラム作成に困難や不便が多い状況にある。特に、特別支援学級の児童は、毎年、同じ場所に宿泊することで見通しをもって安心して宿泊行事に参加できる特性がある。子どもたちが安心して過ごすことができ、充実した施設や臨機応変な対応ができていた富士学園を再開すること。

☑ 以前は、移動教室のための施設ということだったが、平成14年度からは民営化宿泊施設となった。その後民営化宿泊施設について、区政改革推進計画に基づいて施設のあり方について検討が始まり、その結果、R4年度末を以って廃止という判断になった。富士学園は廃止となってしまっているため、残念だが再開できない。

通常学級支援員の増員と低学年対応を

☑ これは、区として増員する方向で考えている。ただし、各学校単位でみたときに1名プラスになるところもあるかもしれないところもあるので、現場から見ればどこも満足していただけるか分からないが、区としては可能な限り増員を考えている。

学習支援員教員については、学校での活用状況や教育効果を検証しながら必要な対応をしていきたいが、来年度については通常学級の支援員の増加を図っていきたい。

低学年対応については、これは非常に大事な課題だと考えているので、どのような支援をしていくか今後検討している。

中学校の部活動の改善を

☑ 方向性としては教員が担うべき業務ではないので、地域移行ということを含めて様々検討している。常に念頭に置いているのは教員の負担を軽減することと、子どもたち中学生の望ましい部活動という視点だ。部活動指導員のこともその一つで、区の活性化事業だ。高円寺学園のモデル事業とか色々な形のメニューを考えている。

先生方の担当希望については、可能な限り話し合いながら決めていく事が大事なと思う。

初任者研修の負担軽減を

☑ これまで3時45分終了ということで運営している。引き続き時間の超過にならないようにしたい。

各校におけるOJTとして様々な取り組みが工夫されているが、勤務時間外の参加については強制できるものではないので、各校管理職と確認をしていきたい。

初任者の指導は校内での指導が基本になるが、指導教授が指導助言を行っている。訪問月、訪問時間等については様々な学校の予定があると思うので、学校と相談しながら決めていく。指導案の作成も、若手の時期に学んでおくべきと考えているが、校務とのバランスを配慮していきたい。

「変形労働時間制」は導入しないこと

☑ 区として導入の予定はございません。

ハラスメント対策と相談窓口の周知徹底、働きやすい職場づくりを

☑ これはここに書いてある通り、もっともなことだ。最近では管理職のパワハラだけでなく教員からのハラスメントもある。私たちみんなが気を付けないといけないことだ。

ストレスチェックの活用とか相談室の設置も呼びかけており、校長会等を通じて校長にはしっかり通知をしているところだ。

勤務時間について

☑ 休憩時間の確保はもう当然のことだ。時差勤務とかテレワークなど教職員の権利のことについても、まず環境をしっかり整える必要がある。教員のタブレットは自宅に持ち帰れないが、今後そういったことを含めて検討している。ちょっと時間がかかるが先生方の働く多様化に対応できるようにしたい。ここ1・2年は過渡期かなと思う。

勤務時間の割り振り変更とか宿泊時間の調整についても、学校の方で適切に実施していただくようにしている。何かあったらご連絡ください。

